井尻商店街振興組合

どんな商店街？

高木校区内に位置し、西鉄天神大牟田線の駅として5番目（普通のみ停車駅では1位）に乗降客数が多い井尻駅を中心とした商店街です。

来街者は常連の中・高齢者層が中心ですが、現在、広報強化を図り、若年層の来街者誘致を進めています。

商店街の魅力を広く伝えるために

1. 商店街の課題

商店街から1分程度の場所にある「井尻駅」の1日あたりの平均利用者数は2023年度で21,533人（西日本鉄道HPより参照）と多いにも関わらず、商店街に来る人は少ないのが現状です。

現在の商店街の広報活動は「新聞折込み」「インスタグラム」が中心であり、情報が埋もれやすく、特定のユーザーのみにしか情報を届けることができていないことが課題となっています。

2.「井尻商店街WEBプラットフォーム構築事業」を開催

【店舗紹介】
・基本情報や写真を掲載することで実際の来店を促した。
【お知らせ】
・イベント情報を通じて商店街に足を運ぶきっかけをつくった。
【イベントレポート】
・イベント内容や写真を掲載することで、今後のイベントに興味を持ち、参加意欲を高めた。
【商店街について】
・商店街の魅力等に加え、理事会の若さをアピールし若者にも親しみを感じてもらった。

HPのデザイン①

3. 効果があったと思われること

ホームページ公開1カ月間で訪問者数1,000ユーザー（1年間で10,000pv数）が目標。
広報活動（チラシの配布や取材記事の公開）の遅れにより1ヶ月の目標は未達成。
広報活動を速やかに進め、ホームページの認知度向上を図るとともに、アクセス数の推移を引き続きGoogle Analyticsにて検証し、目標とする年間10,000PVの達成に向けて取り組む予定です。

HPのデザイン②

4. HP閲覧者の声・会員さんの声

HP閲覧者から「HPのデザインがかわいい」「商店街の魅力が伝わるので行ってみたくなる」などの声がありました。

5. 反省点や今後の取り組み

広報活動（チラシの配布や取材記事の公開）の遅れが反省点として挙げられます。

今後は、ホームページをつくって終わりではなく、ホームページを定期的に閲覧するきっかけをつくり、来街動機の創出と、来店を促すイベントを開催していきたいです。また、単なる情報提供のツールではなく、多様な参加者が相互に関わり、成長させていくプラットフォームとしての役割をもたせたいと考えています。